

東京駅丸の内口の雑踏のなか、目線を上に転じると、この美しいドーム内部の景観を見ることができる。設計者は有名だが、この美しいドームを作った職人の名は知られていない。後世に残る仕事である。細やかでも感動を与える仕事をしたいものです。

院長 小川 洋史

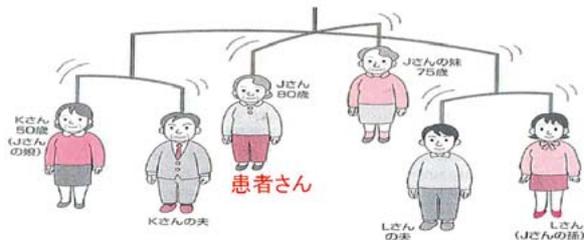
写真：東京駅 (撮影：小川 洋史)

病と共に生きる患者の"家族の暮らし方のコツ"

ホスピーグループ腎透析事業部 統括看護部長 岡山ミサ子

絵のようにモビールの一つの人形に触れると、揺れは次々と全体に広がります。家族も相互に影響し合っているため、患者がゆれると家族全体に影響が連鎖します。つまり、家族の中で一人が病気になると家族全体に影響してきます。

今回は病気を抱える患者の家族の方に焦点を当てて、「家族の暮らし方のコツ」を紹介します。



1. 患者さんの体に関心をもとう

患者の病気の経過、病気の症状や合併症、治療内容を知っておきましょう。患者の様子が何かおかしいと思ったら、声をかけて、すぐに受診を勧めてください。早期発見・早期治療が大事です。一緒に外来受診して、現在の病状や検査結果などを医師に尋ねることも患者を支えるコツになります。また緊急時に備えて、病院の連絡先をわかりやすいところに表示するか、持参しておきましょう。

2. 共に自己管理に気をつける

生活習慣病の糖尿病や腎臓病・高脂血症・高血圧などは食事管理が重要になります。どんな食べ方をしたらよいのか、管理栄養士による栄養指導と一緒に受けて、日常気をつけるポイントを学びましょう。家族の方にとって無理なく生活の中で続けられる食生活を心がけましょう。自己管理することは患者にとって負担やストレスになっている場合があります。制限ばかり強調しすぎないように、あせらず、無理せず、自然体で生活することが長くうまく続けていくコツです。



けんこう百花81号

新生会
情報誌

#IOSPY

#IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY

3. 病気にもなう心の変化を知ろう

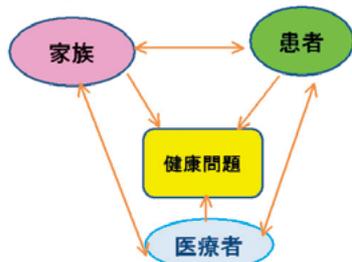
生命に関わる重大な病気や慢性の病気が長期に続くと、体と心のバランスを崩してしまいます。病気への不安だけでなく、将来への不安や生活、仕事など不安は多岐に渡ります。患者の不安やイライラが伝わり家族の方も同様にとまどってしまうことがあります。一人で悩まずに、医療者に相談してください。

4. 社会資源を活用しよう

医療費や通院・日常生活の介護問題は家族の方への負担が多くなります。社会資源をうまく活用して家族の負担を軽減しましょう。そのためには、専門家である医療ソーシャルワーカーや地域のケアマネジャーに相談しましょう。

5. 医療者とのパートナーシップをもとう

患者・家族・医療者のパートナーシップ



絵のように患者・家族・医療者のパートナーシップでは患者や家族は一方的に支援される存在でなく、健康問題に取り組む主体としてとらえられます。患者と家族・医療者が共通認識をもち、相互に対話し、支援しあいながら、健康問題を解決していきます。おまかせ医療ではなく、こんな治療をしたい、こんな食事をしたいなど、主体的に気になっていることは、医療者になげかけて下さい。

ご家族の方へのメッセージ

外来: 当院では、腎臓病・糖尿病教室を開催しております。患者様と一緒に(ご家族のみの参加もOK)に参加して、管理のコツなど揃って頂けたらと思います。(外来師長 澤村)

病棟: 患者様やご家族が安心して診療および療養生活を受けられるように相談窓口を3階病棟に設置しました。気軽にお声を掛けて下さい。(病棟師長 松田)

血液浄化センター: 家族交流会を年1回開催しています。ご家族のみなさんとスタッフで日頃の思いを語り合いましょう。参加をお待ちしています。(血液浄化センター師長 牛崎)

看護部の仲間“ケアスタッフ”を紹介します!!

新生会第一病院 看護部長 宮下美子



病棟では、生活のお手伝いをさせていただいています。いつも笑顔を忘れないように患者様に接しています。

浄化センターでは、患者様への安全の見守りに心がけています。透析終了後安全に病棟やご自宅へ帰っていただきたいと思っています。



患者様の療養環境の整備や身の回りのお世話などで活躍しています。

透析がから版

家族看護・家族支援

十全クリニック看護師長 片村幸代

当グループでは2010年度より「看護の対象として家族をとらえ、家族の健康を支援することで家族看護の理解を深める」ことを目的に、家族面談や家族交流会を開催しています。2014年度も新生会第一病院の外来・病棟・血液浄化センター、在宅透析教育センター、各サテライトにおいて、1～2時間ほどで家族交流会を開催し、多くのご家族の方に参加していただきました。各部署テーマは「透析について」「食事について」「運動について」などいろいろありました。医師・看護師・管理栄養士らからお話を聞いた後、ご家族同士、普段の生活の中で「工夫していること」「頑張っていること」「悩んだり大変だと思うこと」などを自由に語り合い、最後には「みんな苦勞していることがわかった」「大変なのは自分だけじゃない」「透析をしている本人が一番大変なことがわかった」などのご意見をいただきました。また、来年度も各施設で開催しますので、ご参加お待ちしております。

東海知多クリニック



参加者に許可のもと掲載

十全クリニック



参加者に許可のもと掲載

月・日	施設	テーマ
6月26日	新生会第一病院	血液浄化センター 活動の低下を防ぐ日常生活の工夫 ～家族の語らいで高める～
11月 2日		3階病棟 透析導入後、通院透析を開始する患者の家族支援
11月 9日		2階病棟 認知症状のある患者家族への支援
11月29日		外来 CKD患者家族の会
11月30日		在宅透析教育センター 家庭透析をうまく継続するための食事について
6月26日	東海クリニック	透析歴15年以上の患者家族への情報提供と交流会
10月 7日	東海知多クリニック	透析導入1年未満の患者家族交流会
10月 7日	金山クリニック	透析導入3年目の患者家族への透析理解を深める教室
11月20日	平針記念クリニック	導入期1年未満の後期高齢者の患者家族への支援
11月29日	鳴海クリニック	高齢透析患者を支える高齢介護者への家族支援
10月 6日	十全クリニック	透析導入2年未満の患者が元気に通院できるように 家族を支援する交流会(その1)(その2)
12月 6日		

患者サービス委員会 今年度の活動報告

2014年6月

患者満足度調査を実施しました
(外来・196名、病棟・42名、浄化センター・58名)

たくさんのご意見・要望をいただき
ありがとうございました。
結果は**新生会ニュース**として掲示
しました



2014年9月13日(土)

第21回 **オープンセミナー**
(参加者 45名)

**ロコモティブシンドロームについて
簡易運動検査を体験しよう**
を開催しました
・普段の生活で気をつける所が理解できた!
・体験プログラムが良かった!



など、とても
好評でした

2014年12月20日

病棟クリスマス会 (参加者 21名)

民謡と踊り、楽器演奏、ボランティアに
よる合唱、プレゼント抽選会など楽しい
時間を過ごしました。



2015年2月7日(土)

第22回
オープンセミナー
(参加者 49名)

寝たきりゼロへ
～自分らしく元気に暮らすには～
ロコモティブシンドロームを予防する食事
を開催しました



・生活に目標を持って
毎日楽しく暮らしたい
・お勧め料理のレシピ献立は
大変参考になりました。
など、勉強になったという
意見を頂きました。

たくさんのご参加ありがとうございました

新生会第一病院 一般外来診療体制表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
一般内科	午前	○	○	/	○	○	○
腎臓内科		○	○	/	○	○	○
リウマチ科/整形外科		○	○	/	○	/	○
糖尿病内科/内分泌科	午後	○	○	/	○	/	/
リハビリテーション科	※	○	○	/	○	○	○

診療時間:

午前 9:00 ~ 12:00 (受付時間 8:30 ~ 11:30) / 午後 13:30 ~ 16:30 (受付時間 13:00 ~ 16:00)
(曜日、科により診療時間に変動あり)

◎糖尿病内科の日に、糖尿病栄養外来、糖尿病看護外来実施
◎リウマチ相談窓口あり

※リハビリ実施時間:

午前 9:00 ~ 12:00 / 午後 13:00 ~ 16:00

人工透析内科、透析ベッド 46 床、午前の部、午後の部あり

新生会第一病院

住所 〒467-8633 名古屋市瑞穂区玉水町1-3-2

電話 (052)832-8411 FAX (052)832-9063

ホームページ <http://www.hospo-shinseikai.org>

※当院外来では、予約制を実施しております。(初診の患者様、急変した再診の患者様、又、再診の方でも急に受診日を変更したい場合等は、予約がなくても受付けますので来院ください)

